

就労的活動が認知症の人の精神的健康に与える影響とその背景要因の調査 —多施設共同横断比較研究—

加茂 永梨佳 ●神戸大学 大学院保健学研究科 博士課程 後期課程



認知症の人が参加する就労的活動の例

要旨

近年、認知症の人が地域で就労的活動に取り組む実践が散見されるが、その効果は十分に精査されていない。本研究の目的は、就労的活動が認知症の人の精神的健康に与える影響とその背景要因を明らかにすることである。認知症の人を対象に、就労的活動に参加した群と参加していない群の精神的健康を比較した結果、就労的活動に参加した群の精神的健康が有意に高いことが明らかとなった。さらに就労的活動への高いエンゲージメントには、精神的健康が高いこと、活動頻度が高いこと、聴力低下による社会機能制限があることが関連した。今後は、縦断研究により、これらの要因の因果関係を調査することが望まれる。

地域医療貢献のポイント

本研究は、認知症の人の精神的健康や就労的活動へのエンゲージメントを高める実践方法を確立する一助となり、認知症の人の生活の質の維持向上に寄与する。

1. 目的と方法

背景：近年、認知症の人のニーズを反映する形で、介護保険下で認知症の人を含む要介護高齢者が就労的活動に参加することが条件付きで認められた。就労的活動とは、役割がある形での社会参加で、通所介護等の利用者が職員の見守りのもと行う有償・無償のボランティア活動である。しかしその効果は経験的実感に留まり、就労的活動が認知症の人の精神的健康に与える影響やその背景要因の精査は十分に進んでいなかった。本研究の目的は、就労的活動が認知症の人の精神的健康に与える影響とその背景要因を明らかにすることである。

研究デザイン：多施設共同横断比較研究

対象：通所介護利用者のうち、認知症（軽度認知障害を含む）の診断を受けた者

データ収集・分析：質問票および測定を実施した。主要アウトカムはWHO-5精神的健康状態表（WHO-5）とし、その共変量も評価し就労的活動への参加あり群となし群で比較した。精神的健康との関連が予測される就労的活動へのエンゲージメントはAssessment of Quality of Activities (A-QOA) で測定し、関連する要因について、相関分析と重回帰分析を実施した。

2. 現状の成果・考察

就労的活動参加あり群63名、なし群65名が対象となった。そのうち、共変量の中で2群間に有意差があった年代と教育歴で傾向スコアマッチングを行った。その結果、マッチング後の対象者数は、就労的活動参加あ

図1 就労的活動参加あり群・なし群の参加者のフローチャート

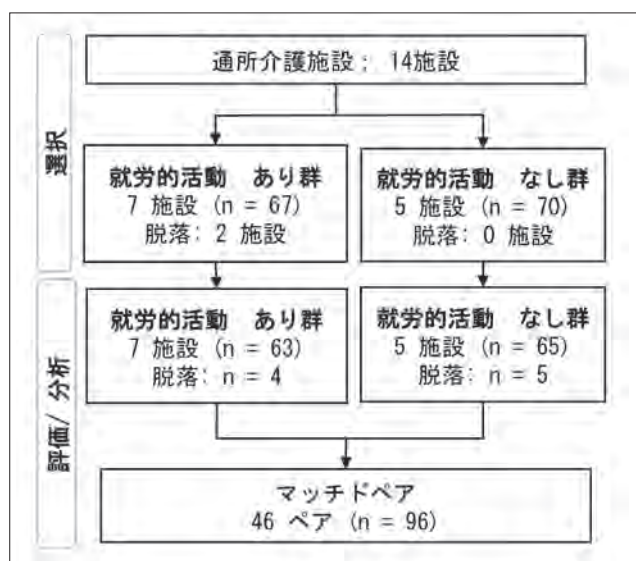
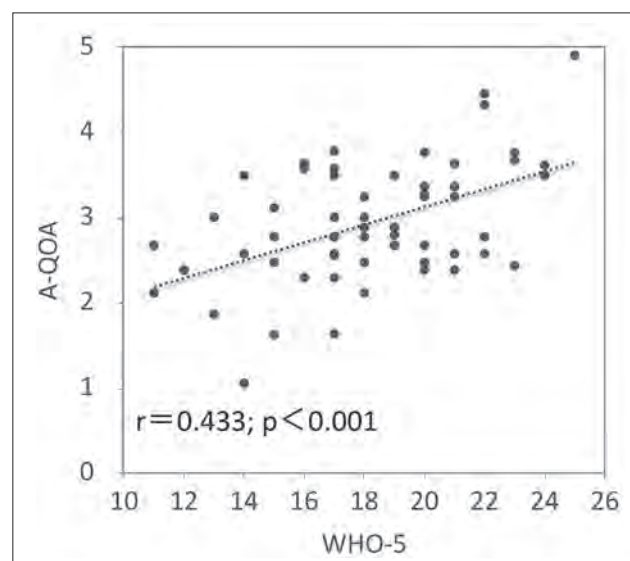


図2 精神的健康と就労的活動へのエンゲージメントの関連



り群46名、なし群46名となった(図1)。マッチング後のデータで2群を比較した結果、共変量は全ての項目において有意差がなく、精神的健康の指標であるWHO-5のみ参加あり群は、なし群と比較して有意に高かった($p<0.001$) (表1)。

就労的活動あり群のみを対象とした分析では、WHO-5とA-QOAの間に有意な相関が認められた($r=0.433$, $p<0.001$) (図2)。就労的活動へのエンゲージメントに関連する要因を重回帰分析で評価した結果、A-QOAに対して有意な関連が認められた要因は、WHO-5 ($\beta=0.480$, $p<0.001$)、参加頻度 ($\beta=0.337$, $p=0.003$)、および聴力

低下による社会機能制限の有無 ($\beta=0.286$, $p=0.01$) であった(表2)。

以上から、就労的活動への参加が認知症の人の精神的健康へ好影響を与え、その背景には、就労的活動へのエンゲージメント、参加頻度、聴力低下による社会機能制限が関連していた。

3. 今後の展望

本研究は横断調査であるため、就労的活動への参加と精神的健康との因果関係については今後、縦断研究で明らかにする必要がある。

表1 参加者の特徴(傾向スコアマッチング後)

	就労的活動あり群 n = 46	就労的活動なし群 n = 46	p 値
年齢 [中央値, (IQR)]	85.50 (70.00, 94.00)	86.00 (75.00, 98.00)	0.2
性別 [n (%)]	男性 8 (17.4)	12 (26.1)	0.449
	女性 38 (82.6)	34 (73.9)	
MMSE, 得点 [中央値, (IQR)]	19.50 (6.00, 27.00)	20.00 (4.00, 27.00)	0.820
Well-Being, 得点 [中央値, (IQR)]	18.00 (11.00, 25.00)	14.50 (8.00, 24.00)	<0.001

表2 就労的活動のエンゲージメントに影響を与える要因

独立変数	β	t	SE	95%CI	p 値	VIF
WHO-5	0.480	4.461	0.022	(0.054, 0.143)	<0.001	1.117
参加頻度	0.337	3.053	0.113	(0.118, 0.569)	0.003	1.176
聴力低下	0.286	2.621	0.194	(0.120, 0.895)	0.011	1.147
調整済み R ² 値: 0.358					<0.001	

n=63